

江別市災害廃棄物処理計画(素案)概要

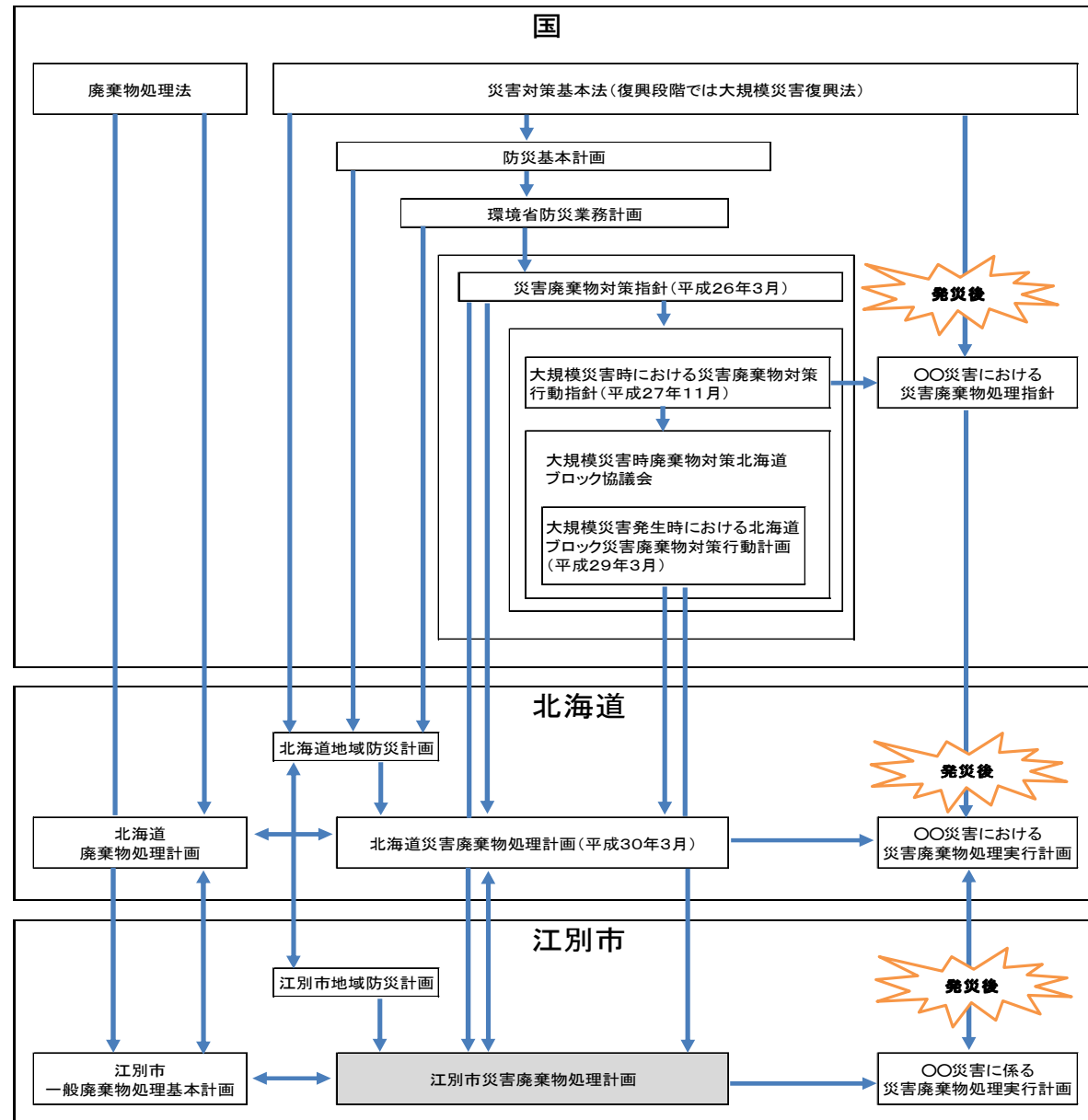
1. 計画策定の目的

本計画は、今後、想定される大規模災害に伴い発生する災害廃棄物を、迅速かつ適正に処理及び再資源化を進めるとともに、市民の生活環境を保全するため、速やかに復旧・復興を進めることを目的に策定します。

2. 計画の基本方針

- (1) 衛生的な処理（生活ごみ・し尿の処理を優先し、野焼きや不法投棄の防止に努めます。）
- (2) 迅速な処理（災害廃棄物は、概ね3年間で処理を終えることとします。）
- (3) 計画的な処理（災害廃棄物の資源化を図るため、民間事業者と連携します。）
- (4) 安全な作業の確保（災害廃棄物の処理には、安全な作業の確保に努めます。）

3. 計画の位置付け



4. 想定する災害

地震	・月寒背斜に関連する断層の地震(震度6弱～7)
	・野幌丘陵断層帯の地震(震度6弱～7)
風水害	・台風最盛期における豪雨による洪水
	・台風最盛期における暴風

出典：江別市地域防災計画

5. 想定する被害

地震と風水害を比較して、最も被害の大きい地震を対象として被害を想定します。

全壊	半壊	合計	避難者数
約 2,900 棟	約 5,050 棟	約 7,950 棟	約 10,000 人

出典：江別市地域防災計画

6. 対象廃棄物

発生源	種類
地震・風水害	可燃物、不燃物、コンクリートがら、金属、柱角材、処理困難物
避難所	生活ごみ、し尿

出典：災害廃棄物対策指針

7. 災害廃棄物の発生量

区分	可燃物	不燃物	コンクリートがら	金属	柱角材	合計
地震	約 81,981 t	約 81,981 t	約 236,834 t	約 30,060 t	約 24,594 t	約 455,450 t
避難所	生活ごみ					約 6.6 t/日
	し尿					約 17 kℓ/日

推計方法：災害廃棄物対策指針

8. 仮置場

大量に発生する災害廃棄物を一時堆積する必要がある場合は、仮置場を確保、設置します。

種類	一時集積場所	一次仮置場	二次仮置場
内容	災害に起因する片づけごみを集積	一時集積場所から受入れのほか、解体廃棄物を分別・保管	一次仮置場から受入れ、処理施設へ搬出するための選別・保管

出典：災害廃棄物対策指針

9. 災害廃棄物の処理

環境クリーンセンターでの災害廃棄物の処理可能量を把握し、適正な処理を進めるとともに、災害廃棄物の再資源化を進めるため、平時に民間事業者と処理等に関する協定の締結を検討します。

また、市施設で処理が困難となった場合は、国、道、他自治体に応援を要請します。

10. 住民への啓発・広報

災害廃棄物を適正に処理するため、仮置場の設置状況や分別等の情報を速やかに周知します。